

# 要 望 書

八王子市私立幼稚園の教育振興に関する要望

所在地	八王子市東町一―一〇―四〇二
団体名	八王子市私立幼稚園協会
会長	中 村 健
所在地	八王子市東町一―一〇―四〇二
団体名	八王子市私立幼稚園PTA連合会
会長	眞 田 ゆ り

平成二十七年 月 日

八王子市長

石 森 孝 志 様

八王子市当局におかれましては、平素より幼児教育、とりわけ、私立幼稚園の健全運営、教育内容の充実、保護者負担の軽減など幼児教育の振興に深いご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、八王子市の幼稚園は全てが私立であり、私財を持ってその重責を背負っていると自負しております。

さて、少子化が叫ばれる昨今、行政が進める施策は、子どもの問題だけではない、労働人口の減少という大きな流れの中で、未来を見据えた計画であると共感させていただいております。

一方で、保護者の中には「満三才までは自分で、家庭で育てたい」そして、幼稚園に通いながら「我が子との生活を共に創り上げたい」といった思いを持たれている方も少なくありません。一つの視点（待機児解消）だけでなく、そうした思いの保護者も包み込む温かな施策を期待しております。

「家庭で共に」との考えを持たれた保護者や幼児にとって、幼稚園への期待は決して小さなものではありません。そして、この「幼児期を親子で共に過ごした」という体験は、その後の人間形成等、良好な結果をもたらすものと信じております。

また、子育てには、他に援助を求めるのも難しく、保護者が一人で悩むなど様々な問題を抱え込んでしまうことも少なくありません、そうした時、地域の子育ての拠点として、育児相談や保護者への支援等、地域の子育ての拠点としての幼稚園に求められる役割は決して小さくありません。

「わが子を自分の手で育てたい」という思いは行政の温かな支援と私立幼稚園が共に手を携えることで、初めて、実現することが出来ると信じております。

しかしながら私立幼稚園は公立や社会福祉法人等の保育所に比べ財務基盤が弱く、保護者の皆様にも、財政的負担をお願いしているというのが現状です。

今、公立小学校もそうであるように、クラスによっては補助の教員が付いたり、先輩教諭が見守り指導するといった体制が幼稚園にも求められております。園児数は減少傾向にありますが、教職員数は逆に、増やさなければならぬ園も少なくありません。

そうした観点から、国や都の政策にかかわらず市当局として、幼稚園にお子さんを通わせる保護者の負担軽減を図るためにも、家庭、子ども、保護者の立場に立った、温かいご配慮をいただきますようお願いする次第です。

かつての幼稚園設置基準に基づき誕生した私立幼稚園は、その環境も含め、幼児教育機関として、また、地域子育ての重要な拠点として、子育てに、市政に大きな成果をもたらすものと確信をしております。是非、私立幼稚園の貴重な役割を御認識いただき、市当局からの特段のご配慮とご支援をいただきますようお願いする次第です。

平成二十八年度予算編成にあたり以下の補助金の実現を要望いたします。

## 一、保護者負担軽減補助金の増額

※ 現行三,五〇〇円(月額)を五,〇〇〇円(月額)へ増額を要望いたします。

八王子市の保護者負担軽減補助金は、市当局にご理解を頂き、一昨年度、増額をして頂きました。しかし、市内の三〜五歳児人口の約半数を占める私立幼稚園に通う保護者にとっては、安心して子育てが出来る状況ではないのが現状です。経済的負担が最も大きい幼稚園保護者に対し、是非とも光をあてて頂きたいと心よりお願い致します。

## 二、入園料の一部補助について

※ 入園料補助金の更なる充実を要望いたします。

入園料の一部補助として七年前に創設して頂きました入園料補助金制度は、保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園への門戸を広げる大きな意味を持った制度であり、保護者から大きな反響を頂いております。

入園料が無料の保育園と比べ幼稚園保護者の負担は今だに大きく、保護者の負担軽減、幼保格差是正という観点から、引き続きご配慮をお願い致します。

## 三、特別支援教育事業補助の増額

※ 私立幼稚園が行う特別支援教育に関し

**対象児一名につき月額五万円の補助金を要望いたします。**

現在、八王子市には、就学前、特別な支援の必要な幼児を受け入れる施設が少なく、また、保育園への入園の条件が整わない保護者の元では、そうした支援を要するお子さんのほとんどは私立幼稚園に通ってくださっています。

ところが、現状では、本市の特別支援教育についての私立幼稚園に対する補助金制度は、国・都の特別支援教育補助金制度を補完する形の制度となっているため、特別支援のお子さんが二名以上在園する場合、市からの補助は国・都で申請が間に合わなかった場合のみ対象となります。また、国・都の補助金だけでは在園するすべての特別支援児に加配職員を置くだけの余裕はありません。

私立幼稚園が本市における幼児期の特別支援教育の重責を担っていることを御認識いただき、国・都の施策とは別に本市独自の特別支援教育事業補助金制度の確立と巡回相談の更なる充実をお願い致します。

## 四、預かり保育の充実に ついて

長時間の保育を希望する保護者には、保育所や子ども園が用意されております。また保育園を希望しても仕事が短時間等で保育要件を満たさない、普段は幼稚園の時間で賄えるが週に何回かは保育時間の延長を希望する、仕事はあっても幼稚園という環境で子育てを希望するなど、近年、保育ニーズも多様化し、それらに応えるべく幼稚園では「預かり保育」を実施し対応しております。

新教育要領にも預かり保育に関する項目が明記され、人的配置、安全対策、設備等への一層の充実が求められております。また、八王子市でも放課後、早朝、夏冬春休み等、長期休業中の預かり保育を実施する園が多くなりました。

こうした預かり保育は職員の加配、勤務時間の延長など、財政的負担も少なくありません。この負担の全てを保護者をお願いするのではなく、各園もそれら経費を負担しております。

しかし、その努力が、私学の健全性、また、新教育要領にある「預かり保育の一層の充実」を阻む結果にもなりかねません。

私立幼稚園の健全な経営のためには、この「預かり保育」も含めた行政からの支援が必要です。

## 五、教職員研修費補助金（協会研修）について

現在、私立幼稚園協会では、教職員の資質の向上を図るため、幼児教育の研究と現場での研修に取り組んでおります。これに対し、市当局から深いご理解をいただき、研修費補助金は、教職員の研修に関する事業に大いに役立たせていただいております。

この貴重な補助金を、子ども達の保育環境の中でも、最も重要と考えられる教職員の健康管理等に広げることを認めていただけるようお願いいたします。少子化、教職員等の増員などにより、私学にとつては、教職員の健康管理等も大きな負担となっております。また、近年の幼稚園教諭求人難しさなどから、教職員の処遇改善は早急な課題です。こうした現状を踏まえ、当該補助金を、教職員に関わるより幅広い観点から捉え、有意義な使い方ができるよう、ご配慮をお願い致します。

## 六、幼・保格差の是正について

子育ては保育所に入園するか幼稚園に入園するかで、行政からのサービス額の差が大変大きいことは周知の事実となっております。我が子をどういった環境で育てるか、保護者の選択の仕方、格差が発生することは、市当局におきましても本意ではないと思われれます。幼児の教育・保育行政による格差是正の促進をお願い致します。

